

◎ Lesson 1 の目標と評価規準（例）

1. 目標

現在形、過去形、進行形の用法を理解したうえで、その知識を活用し、自分や周りの人、あるいは憧れる人、尊敬する人について、わかりやすく的確に表現し、紹介することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------------|--|---|--|
| 話すこと（やり取り） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本時制（現在・過去・進行形）の形を理解し、それぞれの時制がもつ概念のイメージを適切に把握している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた基本時制の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるよう、表現することができる。 ・相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 ・相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと（発表） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本時制の形を理解し、それぞれの時制がもつ概念のイメージを適切に把握している。 ・人物を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本時制に関する知識を活用し、人物紹介をする際に、正確に情報が伝わるように、まとまった内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介をするために、基本的な情報、その人物に関するエピソード、受けた影響や感想などの情報を探し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級で人物紹介するために、基本的な情報、その人物に関するエピソード、受けた影響や感想などの情報を整理し、まとまりのある内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本時制の形を理解し、それぞれの時制がもつ概念のイメージを適切に把握している。 ・人物を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本時制に関する知識を活用し、人物紹介をする際に、正確に情報が伝わるように、まとまった内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介をするために、基本的な情報、その人物に関するエピソード、受けた影響や感想などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現しながら、5文以上のまとまりのあるパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介をするために、基本的な情報、その人物に関するエピソード、受けた影響や感想などの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、5文以上のまとまりのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 2 の目標と評価規準（例）

1. 目標

助動詞 will や be going to、現在形、進行形の用法を理解したうえで、その知識を活用し、来日した知り合いと過ごす土曜日の予定について、わかりやすく的確に表現し、発表することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------------|--|--|---|
| 話すこと（やり取り） | <p>〔知識〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来を表すさまざまな表現の用法を理解し、それぞれのニュアンスの違いを適切に把握している。 <p>〔技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話をしている相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 身につけた未来を表す表現の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話をしている相手に伝わるように、表現することができる。 相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたたり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと（発表） | <p>〔知識〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来を表すさまざまな表現の用法を理解し、それぞれのニュアンスの違いを適切に把握している。 休日の予定を話す際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>〔技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来を表す表現に関する知識を活用し、休日の予定について、正確に情報が伝わるように、まとまった内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 来日した知り合いと過ごす休日の予定を紹介するために、その日の天気、一緒にに行く地域や場所、そこで何をするかなどの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学級で来日した知り合いと過ごす休日の予定を紹介するために、その日の天気、一緒にに行く地域や場所、そこで何をするかなどの情報を整理し、まとまりのある内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>〔知識〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来を表すさまざまな表現の用法を理解し、それぞれのニュアンスの違いを適切に把握している。 休日の予定についてのパラグラフの展開が理解できている。 <p>〔技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来を表す表現に関する知識を活用し、休日の予定について、正確に情報が伝わるように、まとまった内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 来日した知り合いと過ごす休日の予定を紹介するために、その日の天気、一緒にに行く地域や場所、そこで何をするかなどの情報を整理し、わかりやすい英語で表現しながら、5文以上のまとまりのあるパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 来日した知り合いと過ごす休日の予定を紹介するために、その日の天気、一緒にに行く地域や場所、そこで何をするかなどの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、5文以上のまとまりのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 3 の目標と評価規準（例）

1. 目標

助動詞の用法を理解したうえで、その知識を活用し、富士山を訪れる海外からの旅行者のために、登山の際に注意すべき事項をまとめ、わかりやすく的確に表現し、発表することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|--|--|---|
| 話すこと (やり取り) | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 助動詞の用法を理解し、それぞれの助動詞がもつ意味と使い方を適切に把握している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 身につけた助動詞の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるよう、表現することができる。 相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと (発表) | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 助動詞の用法を理解し、それぞれの助動詞がもつ意味と使い方を適切に把握している。 登山に関する注意事項についてのパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 助動詞に関する知識を活用し、登山に関する注意事項について、正確に情報が伝わるように、まとめた内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 海外からの旅行者に向けて、富士山に登る際の注意事項を紹介するために、しておくべきこと、してはいけないことやできないこと、できることなどの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学級で富士山に登る際の注意事項を紹介するために、しておくべきこと、してはいけないことやできないこと、できることなどの情報を整理し、まとめた内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 助動詞の用法を理解し、それぞれの助動詞がもつ意味と使い方を適切に把握している。 登山に関する注意事項についてのパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 助動詞に関する知識を活用し、登山に関する注意事項について、正確に情報が伝わるように、まとめた内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 海外からの旅行者に向けて、富士山を登る際の注意事項を紹介するために、ておくべきこと、してはいけないことやできないこと、できることなどの情報を整理し、わかりやすい英語で表現しながら、5文以上のまとめたあるパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 海外からの旅行者に向けて、富士山を登る際の注意事項を紹介するために、ておくべきこと、してはいけないことやできないこと、できることなどの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、5文以上のまとめたあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 4 の目標と評価規準（例）

1. 目標

完了形の用法を理解したうえで、その知識を活用し、友だちのこれまでの経験についてわかりやすく的確に表現し、紹介することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|--|--|---|
| 話すこと （やり取り） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了形（現在・過去・進行形）の用法を理解し、それぞれの完了形がもつ意味の違いを適切に把握している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 今まで経験したことについて、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけていく。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 身につけた完了形の知識・技能を活用し、今まで経験したことについて、会話している相手に伝わるよう、表現することができる。 相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたうり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと （発表） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了形の用法を理解し、それぞれの完了形がもつ意味の違いを適切に把握している。 自分と友だちの経験を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了形に関する知識を活用し、自分と友だちの経験について、正確に情報が伝わるように、まとまった内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分と友だちの経験を紹介するために、それぞれの経験を述べるとともに、それらを比較しながら、自分が今後やってみたいと感じたことなどの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学級で自分と友だちの経験を紹介するために、それぞれの経験を述べるとともに、それらを比較しながら、自分が今後やってみたいと感じたことなどの情報を整理し、まとめのある内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了形の用法を理解し、それぞれの完了形がもつ意味の違いを適切に把握している。 自分と友だちの経験を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了形に関する知識を活用し、自分と友だちの経験について、正確に情報が伝わるように、まとまった内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分と友だちの経験を紹介するために、それぞれの経験を述べるとともに、それらを比較しながら、自分が今後やってみたいと感じたことなどの情報を整理し、わかりやすい英語で表現しながら、5文以上のまとめのあるパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分と友だちの経験を紹介するために、それぞれの経験を述べるとともに、それらを比較しながら、自分が今後やってみたいと感じたことなどの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、5文以上のまとめのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 5 の目標と評価規準（例）

1. 目標

受動態の用法を理解したうえで、その知識を活用し、自分の好きな日本の食べ物をわかりやすく的確に表現し、発表することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|--|---|--|
| 話すこと （やり取り） | <p>〔知識〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 受動態の用法を正確に理解している。 <p>〔技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 身につけた受動態の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるように、表現することができる。 相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと （発表） | <p>〔知識〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 受動態の用法を正確に理解している。 好きな日本食を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>〔技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 受動態に関する知識を活用し、好きな日本食を紹介する際に、正確に情報が伝わるように、まとまった内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 好きな日本食を紹介するために、食べ物の名前に加えて、材料や好きな理由などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学級で好きな日本食を紹介するため、食べ物の名前に加えて、材料や好きな理由などの情報を整理し、まとまりのある内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>〔知識〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 受動態の用法を正確に理解している。 好きな日本食を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>〔技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 受動態に関する知識を活用し、好きな日本食を紹介する際に、正確に情報が伝わるように、まとまった内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 好きな日本食を紹介するために、食べ物の名前に加えて、材料や好きな理由などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現しながら、5文以上のまとまりのあるパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 好きな日本食を紹介するため、食べ物の名前に加えて、材料や好きな理由などの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、5文以上のまとまりのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 6 の目標と評価規準（例）

1. 目標

比較級や最上級の用法を理解したうえで、その知識を活用し、ギネスブックに載せるための計画をまとめ、わかりやすく的確に表現し、発表することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|--|--|---|
| 話すこと （やり取り） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較級や最上級の用法とそれらを用いた表現を正確に理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた比較の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるように、表現することができる。 ・相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 ・相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたうり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと （発表） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較級や最上級の用法とそれらを用いた表現を正確に理解している。 ・ギネスブックに載せるための計画を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較級や最上級に関する知識を活用し、ギネスブックに載せるための計画を紹介する際に、正確にまとめた内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ギネスブックに載せる計画を紹介するために、どんな内容をどこでいつ行うかなどの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ギネスブックに載せる計画を紹介するために、どんな内容をどこでいつ行うかなどの情報を整理し、まとめのある内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較級や最上級の形や用法とそれらを用いた表現を正確に理解している。 ・ギネスブックに載せるための計画を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較級や最上級に関する知識を活用し、ギネスブックに載せるための計画を紹介する際に、正確にまとめた内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ギネスブックに載せる計画を紹介するために、どんな内容をどこでいつ行うかなどの情報を整理し、わかりやすい英語で表現しながら、5文以上のまとめのあるパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ギネスブックに載せる計画を紹介するために、どんな内容をどこでいつ行うかなどの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、5文以上のまとめのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 7 の目標と評価規準（例）

1. 目標

同等比較や倍数比較の用法を理解したうえで、その知識を活用し、食品ロスを減らす方法について、わかりやすく的確に表現し、発表することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|---|---|--|
| 話すこと (やり取り) | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 同等比較や倍数比較の用法、およびさまざまな表現を正確に理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 身につけた同等比較や倍数比較の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるように、表現することができる。 相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと (発表) | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 同等比較や倍数比較の用法、およびさまざまな表現を正確に理解している。 食品ロスを減らす方法を発表するパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 同等比較や倍数比較に関する知識を活用し、食品ロスを減らす方法を発表する際に、グラフの情報と合わせて正確に情報が伝わるように、まとめた内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> グラフの情報（ある県における食品ロスの原因）を読み取り、食品ロスを減らすためにするべきことを整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学級で食品ロスを減らす方法を発表するために、グラフの情報（ある県における食品ロスの原因）を読み取り、食品ロスを減らすためにするべきことを整理し、まとめのある内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 同等比較や倍数比較の用法、およびさまざまな表現を正確に理解している。 食品ロスを減らす方法を発表するパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 同等比較や倍数比較に関する知識を活用し、食品ロスを減らす方法を発表する際に、グラフの情報と合わせて正確に情報が伝わるように、まとめた内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> グラフの情報（ある県における食品ロスの原因）を読み取り、食品ロスを減らすためにするべきことを整理し、わかりやすい英語で表現しながら、5文以上のまとめのあるパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 食品ロスを減らす方法を発表するために、グラフの情報（ある県における食品ロスの原因）を読み取り、食品ロスを減らすためにするべきことを整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、5文以上のまとめのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 8 の目標と評価規準（例）

1. 目標

動名詞、to 不定詞の名詞的用法を理解したうえで、その知識を活用し、台風への備えについてわかりやすく的確な表現を用いて発表することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|--|---|--|
| 話すこと （やり取り） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動名詞や to 不定詞の名詞的用法、および表現を正確に理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が起きた場合を想像し、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた動名詞や to 不定詞の名詞的用法の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるように、表現することができる。 ・相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 ・相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと （発表） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動名詞や to 不定詞の名詞的用法、および表現を正確に理解している。 ・台風への備えに対する情報を紹介するパラグラフの展開を理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動名詞や to 不定詞に関する知識を活用し、台風への備えに対する情報を紹介する際に、正確に情報が伝わるように、まとめた内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・台風への備えに対する情報を紹介するために、やっておくべきことを整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級で、台風への備えに対する情報を紹介するために、やっておくべきことを整理し、まとまりのある内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動名詞や to 不定詞の名詞的用法、および表現を正確に理解している。 ・台風への備えに対する情報を紹介するパラグラフの展開を理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動名詞や to 不定詞に関する知識を活用し、台風への備えに対する情報を紹介する際に、正確に情報が伝わるように、まとめた内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・台風への備えに対する情報を紹介するために、やっておくべきことを整理し、わかりやすい英語で表現しながら、5文以上のまとまりのあるパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・台風への備えに対する情報を紹介するために、やっておくべきことを整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、5文以上のまとまりのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 9 の目標と評価規準（例）

1. 目標

to 不定詞の形容詞的用法や副詞的用法を理解したうえで、その知識を活用し、留学先に日本から持つていきたいおみやげについて、わかりやすく的確に表現し、発表することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|---|--|--|
| 話すこと (やり取り) | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> to 不定詞の形容詞的用法や副詞的用法および表現を正確に理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 身につけた to 不定詞の形容詞的用法や副詞的用法の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるように、表現することができる。 相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと (発表) | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> to 不定詞の形容詞的用法や副詞的用法および表現を正確に理解している。 日本のおみやげを説明する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> to 不定詞の形容詞的用法や副詞的用法に関する知識を活用し、日本のおみやげを紹介する際に、正確に情報が伝わるように、まとめた内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 留学先に持つていきたい日本のおみやげを紹介するために、そのおみやげの機能や利点などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学級で留学先に持つていきたい日本のおみやげを紹介するために、そのおみやげの機能や利点などの情報を整理し、まとめた内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> to 不定詞の形容詞的用法や副詞的用法および表現を正確に理解している。 日本のおみやげを紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> to 不定詞の形容詞的用法や副詞的用法に関する知識を活用し、日本のおみやげを紹介する際に、正確に情報が伝わるように、まとめた内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 留学先に持つていきたい日本のおみやげを紹介するために、そのおみやげの機能や利点などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現しながら、5文以上のまとめたあるパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 留学先に持つていきたい日本のおみやげを紹介するために、そのおみやげの機能や利点などの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、5文以上のまとめたあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 10 の目標と評価規準（例）

1. 目標

分詞の用法を理解したうえで、その知識を活用し、最近見かけた出来事について、わかりやすく的確に表現し、説明することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|---|--|--|
| 話すこと （やり取り） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在分詞と過去分詞の形を理解し、それぞれの分詞がもつ意味と用法を正確に理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 身につけた分詞の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるように、表現することができる。 相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと （発表） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在分詞と過去分詞の形を理解し、それぞれの分詞がもつ意味と用法を正確に理解している。 最近見かけた出来事を説明する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 分詞に関する知識を活用し、最近見かけた出来事を説明する際に、正確に情報が伝わるように、まとめた内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 最近見かけた出来事を説明するために、詳しい情報や自分が感じたことを整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学級で最近見かけた出来事を説明するために、詳しい情報や自分が感じたことを整理し、わかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在分詞と過去分詞の形を理解し、それぞれの分詞がもつ意味と用法を正確に理解している。 最近見かけた出来事を説明する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 分詞に関する知識を活用し、最近見かけた出来事を説明する際に、正確に情報が伝わるように、まとめた内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 最近見かけた出来事を説明するために、詳しい情報や自分が感じたことを整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、5文以上のまとめのあるパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 最近見かけた出来事を説明するために、詳しい情報や自分が感じたことを整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、5文以上のまとめのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 11 の目標と評価規準（例）

1. 目標

関係代名詞の用法を理解したうえで、その知識を活用し、グループで考えたオリジナル製品のアイディアについて、わかりやすく的確に表現し、発表することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|---|--|--|
| 話すこと （やり取り） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の用法を正確に理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた関係代名詞の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるよう、表現することができる。 ・相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 ・相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと （発表） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の用法を正確に理解している。 ・オリジナル製品を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞に関する知識を活用し、オリジナル製品を紹介する際に、正確に情報が伝わるよう、まとめた内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル製品を紹介するため、製品名、製品の種類、特長、通常の使い方、特別な使い方、値段などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級でオリジナル製品を紹介するため、製品名、製品の種類、特長、通常の使い方、特別な使い方、値段などの情報を整理し、まとめた内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の用法を正確に理解している。 ・オリジナル製品を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞に関する知識を活用し、オリジナル製品を紹介する際に、正確に情報が伝わるよう、まとめた内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル製品を紹介するため、製品名、製品の種類、特長、通常の使い方、特別な使い方、値段などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現しながら、7文以上のまとめた内容をパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル製品を紹介するため、製品名、製品の種類、特長、通常の使い方、特別な使い方、値段などの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、7文以上のまとめた内容をパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 12 の目標と評価規準（例）

1. 目標

関係副詞の用法を理解したうえで、その知識を活用し、旅行業者の営業スタッフとして、海外からのお客様にすすめたい観光地についてわかりやすく的確に表現し、紹介することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|--|---|---|
| 話すこと （やり取り） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞の用法を正確に理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた関係副詞の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるよう、表現することができる。 ・相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 ・相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと （発表） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞の用法を正確に理解している。 ・海外からのお客様にすすめる観光地を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞に関する知識を活用し、海外からのお客様にすすめる観光地紹介をする際に、正確に情報が伝わるように、まとめた内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・海外からのお客様にすすめる観光地を紹介するために、ペアで旅行会社の営業スタッフと客になりきり、行きたい場所の特徴、おすすめの都道府県、その見どころ、おすすめの季節、その季節の見どころなどの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級で海外からのお客様にすすめる観光地を紹介するために、ペアで旅行会社の営業スタッフと客になりきり、行きたい場所の特徴、おすすめの都道府県、その見どころ、おすすめの季節、その季節の見どころなどの情報を整理し、まとめのある内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞の用法を正確に理解している。 ・外国人にすすめる観光地を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞に関する知識を活用し、海外からのお客様にすすめる観光地紹介をする際に、正確に情報が伝わるように、まとめた内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・海外からのお客様にすすめる観光地を紹介するために、ペアで旅行会社の営業スタッフと客になりきり、行きたい場所の特徴、おすすめの都道府県、その見どころ、おすすめの季節、その季節の見どころなどの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、3往復以上のやりとりを根気よく書こうとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・海外からのお客様にすすめる観光地を紹介するために、ペアで旅行会社の営業スタッフと客になりきり、行きたい場所の特徴、おすすめの都道府県、その見どころ、おすすめの季節、その季節の見どころなどの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、3往復以上のやりとりを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 13 の目標と評価規準（例）

1. 目標

仮定法の用法を理解したうえで、その知識を活用し、地域や学校をよりよくするためのアイディアをわかりやすく的確に表現し、発表することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|---|---|--|
| 話すこと (やり取り) | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮定法の用法を正確に理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた仮定法の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるように、表現することができる。 ・相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 ・相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと (発表) | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮定法の用法を正確に理解している。 ・地域や学校をよりよくするためのアイディアを紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮定法に関する知識を活用し、地域や学校をよりよくするためのアイディアを紹介する際に、正確に情報が伝わるように、まとまった内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校をよりよくするためのアイディアを紹介するために、問題点や解決策などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級で地域や学校をよりよくするためのアイディアを紹介するために、問題点や解決策などの情報を整理し、まとまりのある内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮定法の形を正確に理解している。 ・地域や学校をよりよくするためのアイディアを紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮定法に関する知識を活用し、地域や学校をよりよくするためのアイディアを紹介する際に、正確に情報が伝わるように、まとまった内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校をよりよくするためのアイディアを紹介するために、問題点や解決策などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現しながら、7文以上のまとめのあるパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校をよりよくするためのアイディアを紹介するために、問題点や解決策などの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、7文以上のまとめのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 14 の目標と評価規準（例）

1. 目標

接続詞の用法を理解したうえで、その知識を活用し、おすすめのアップサイクル製品について、わかりやすく的確に表現し、発表することができる。

2. 内容のまとめごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して、学校ごとに作成する。）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------|--|--|---|
| 話すこと （やり取り） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続詞の用法を正確に理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた接続詞の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるよう、表現することができる。 ・相手からの質問を正確に理解し、適切に答えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 ・相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたたり、聞き返したりしている。 |
| 話すこと （発表） | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続詞の用法を正確に理解している。 ・おすすめのアップサイクル製品を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続詞に関する知識を活用し、おすすめのアップサイクル製品を紹介する際に、正確に情報が伝わるように、まとめた内容を話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめのアップサイクル製品を紹介するために、原材料や特徴などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級でおすすめのアップサイクル製品を紹介するために、原材料や特徴などの情報を整理し、まとめのある内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。 |
| 書くこと | <p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続詞の用法を正確に理解している。 ・おすすめのアップサイクル製品を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続詞に関する知識を活用し、おすすめのアップサイクル製品を紹介する際に、正確に情報が伝わるように、まとめた内容を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめのアップサイクル製品を紹介するために、原材料や特徴などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現しながら、7文以上のまとめのあるパラグラフを書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめのアップサイクル製品を紹介するために、原材料や特徴などの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、7文以上のまとめのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |